

令和 7 年 2 月 1 2 日

# まちづくり委員会資料

## 請願第 2 2 号

歩道における車両乗入部の平坦化を求める請願

## 請願第 2 3 号

排水口（溝）の蓋の取替えを求める請願

## 請願第 2 4 号

歩道における縦断勾配の緩和を求める請願

## 請願第 2 5 号

横断歩道滞留部分（歩道だまり）等の平坦化を求める請願

## 請願第 2 6 号

視覚障害者誘導用ブロックの適切な設置と維持管理を求める請願

建 設 緑 政 局

請願第22号
 歩道における車両乗入部の平坦化を求める請願
 ほか請願4件

1. 請願箇所に対するこれまでの取組

【対応経過】

- 令和3年8月 歩道の実態調査等の資料を受領
- 令和4年10月、令和5年5月 関係団体と面談

●要望箇所数：**888箇所**（令和3年8月時点）

- 国土交通省や交通管理者等の関係機関が所管する箇所数：70箇所
- 川崎市所管箇所数：**818箇所**

（今回の請願内容に含まれないものや内容の重複があるため、請願第22号～第26号の各々の件数は把握不可）

【内訳】

- 対応可能箇所：**181箇所**
- 対応困難箇所：**637箇所**

（用地取得を伴う大規模な改良、民地地盤の嵩下げ、電柱除却等）

【対応】

- 令和7年1月31日現在で**29箇所**の対策を実施済
- 今後、令和6年度中に**19箇所**の対策を実施予定
- 令和7年度以降対応を予定しているものが**133箇所**あり、順次対応を予定しているが、予算的、人的に時間を要する

| 請願番号 | 内容          | 合計  | 他部署所管 | 川崎市所管 | 対応困難箇所 | 対応可能箇所 | 対応済み |
|------|-------------|-----|-------|-------|--------|--------|------|
| 22号  | 歩道の勾配       | 541 | 44    | 497   | 490    | 7      | 1    |
| 24号  | 歩道の段差・断絶    | 15  | 3     | 12    | 4      | 8      | 2    |
| 25号  |             |     |       |       |        |        |      |
| 23号  | グレーチング      | 104 | 6     | 98    | 1      | 97     | 11   |
| 26号  | 点字ブロック      | 19  | 1     | 18    | 0      | 18     | 2    |
| —    | 安全対策        | 19  | 6     | 13    | 7      | 6      | 4    |
| —    | 根上り         | 5   | 0     | 5     | 0      | 5      | 1    |
| —    | 段差解消ステップ    | 19  | 0     | 19    | 0      | 19     | 5    |
| —    | 歩道の凹凸・舗装    | 9   | 1     | 8     | 0      | 8      | 2    |
| —    | 歩道の障害物(電柱等) | 112 | 6     | 106   | 94     | 12     | 1    |
| —    | 歩道幅員        | 42  | 0     | 42    | 41     | 1      | 0    |
| —    | 横断歩道        | 3   | 3     | 0     | 0      | 0      | 0    |
|      | 合計          | 888 | 70    | 818   | 637    | 181    | 29   |

請願第22号



【対策前】

不要な切下げ部がある



【対策済】

自費工事で改善

請願第23号 東小倉



【対策前】

蓋の穴を塞いでほしい



【対策済】

細目の蓋に交換

請願第24号 南加瀬4丁目



【対策前】

急勾配を直してほしい



【対策済】

すりつけ区間を延長

請願第25号 下平間



【対策前】

車道との段差が2cm以上ある



【対策済】

歩車道境界ブロックを設置

請願第26号 中幸町3丁目



【対策前】

輝度比が取れていない



【対策済】

黄色点字ブロックに変更

## 請願第22号 歩道における車両乗入部の平坦化を求める請願 ほか請願4件

### 2. 主な改善要望

#### 【請願第22号 歩道における車両乗入部の平坦化を求める請願】

- ・設置の目的が失われている不要な車両乗入部から優先して計画的に改修を進めることが現実的です。
- ・自費工事申請を経ずに道路管理者が無償で工事を行った場所について、道路管理者が責任を持ってもとの平坦な歩道に戻す必要があります。

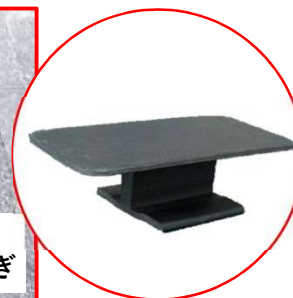


#### 【請願第23号 排水口（溝）の蓋の取替えを求める請願】

- ・路面よりも高く盛り上がって排水機能として疑義のある排水口が多数見受けられるので、すみやかに改修する必要がある。
- ・排水口の蓋の材料にかかわらず、格子幅の細いグレーチング蓋で代用可能であれば、10ミリのグレーチング蓋に取り替える必要があります。特に、横断歩道部分に設置された排水溝は10ミリのグレーチング蓋への交換を急ぐ必要があります。



- ・コンクリート製の蓋については、排水機能に支障が少なければ、蓋の穴にゴムやプラスチック性の詰め物を施しておくのも安価で容易な方法と考えるが、あくまでも応急的な対応なので、バリアフリーの観点から支障の及ばない蓋への計画的な交換が必要です。



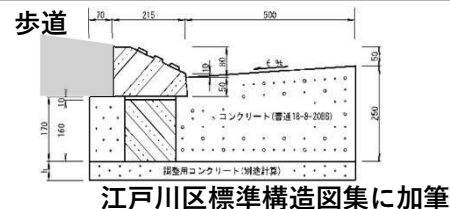


## 請願第22号 歩道における車両乗入部の平坦化を求める請願 ほか請願4件

### 2. 主な改善要望

#### 【請願第24号 歩道における縦断勾配の緩和を求める請願】

- 歩道の切れ目の手前から緩やかな傾斜をつくり、車道との境界部分には「江戸川式」の特殊縁石を使用すれば、傾斜も段差も解決できます。



#### 【請願第25号 横断歩道滞留部分（歩道だまり）等の平坦化を求める請願】

- 横断歩道滞留部分は歩道の幅員が狭い場合には、車両乗入部と同様に全面切下げをして平坦化しないと横断歩道（車道）の方向に勾配ができてしまいますので、法令等に則った適切な改修が必要です。
- 歩道の段差についても、車道との境界部分に段差ができないように周囲の高さや勾配をできるだけ抑えて、境界部分には「江戸川式」の特殊縁石を使用するなどの工夫が必要です。



#### 【請願第26号 視覚障害者誘導用ブロックの適切な設置と維持管理を求める請願】

- 杖の先が沈み込むおそれのある点字ブロックや、必要とする場所に点字ブロックがない、進行方向の案内が分かりづらい点字ブロックなど改善が必要です。
- 教育、啓発の意味合いを持たせた象徴的な色彩として、市内の点字ブロックは黄色に統一することも検討の上、定期的な維持管理の継続が必要です。



#### ●輝度比

輝度とは、ものの明るさを表現したものであり、輝度比とは明暗のコントラストを表します。値が大きいほど明暗がはっきりします。



写真：道路の移動等円滑化整備ガイドライン

## 請願第22号 歩道における車両乗入部の平坦化を求める請願 ほか請願4件

### 3. 関係法令等

#### 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）

- 道路管理者は、**特定道路の新設又は改築**を行うときは、**省令で定める基準を参酌して条例で定める基準に適合**させなければならない（義務）。
- 道路管理者は、**既存の道路**について、**当該基準に適合させるよう努めなければならない**。（努力義務）。

#### 川崎市移動等円滑化のために必要な道路の構造の基準に関する条例

##### 【舗装等】請願第23号関係

- 歩道等の排水溝**（横断歩道に接続する排水溝を含む。）には、**つえ、車椅子のキャスター等が落ち込まない構造の溝蓋を設ける**ものとする。

##### 【勾配】請願第24・第25号関係

- 歩道等の縦断勾配は、5%以下**とするものとする。ただし、**地形の状況その他特別の理由によりやむを得ない場合においては、8%以下**とすることができる。

##### 【横断歩道等に接続する歩道の部分等の構造】請願第25号関係

##### ①水平区間

- 横断歩道等に接続する歩道の部分には水平区間を設ける**こととし、その値は1.5m程度とする。ただし、やむを得ない場合にはこの限りでない。

##### ②車道との段差

- 歩道と車道との段差**は視覚障害者の安全な通行を考慮して**2cmを標準**とする。

##### 【視覚障害者誘導用ブロック】請願第26号関係

- 歩道等**、立体横断施設の通路、乗合自動車停留所、路面電車停留場の乗降場及び自動車駐車場の通路には、**視覚障害者の移動等円滑化のために必要であると認められる箇所**に、視覚障害者誘導用ブロックを敷設するものとする。
- 視覚障害者誘導用ブロックの**色は、黄色**その他の周囲の路面との輝度比が大きいこと等により**当該ブロック部分を容易に識別できる色**とするものとする。

#### 【凡例】

**緑文字**：請願第22号、第24号、第25号

（車両乗入部、縦断勾配、横断歩道滞留部）

**青文字**：請願第23号関係（排水溝）

**橙文字**：請願第26号関係（視覚障害者誘導用ブロック）

| 年      | 名称                                                                       |
|--------|--------------------------------------------------------------------------|
| 昭和45年  | 道路構造令〔改定前〕<br>（歩道の幅員1.5m、横断勾配2%）                                         |
| 昭和50年頃 | 現地視察箇所<br>（栄通り商店街）の整備時期                                                  |
| 昭和54年  | 車両乗入れ部切下げ工事承認基準<br>【 <b>請願第22号</b> 関係】                                   |
| 平成17年  | 歩道の一般的構造に関する基準<br>【 <b>請願第22号</b> 関係】                                    |
| 平成18年  | 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）<br>【 <b>請願第23号、第24号、第25号、第26号</b> 関係】 |
| 平成24年  | 川崎市移動等円滑化のために必要な道路の構造の基準に関する条例<br>【 <b>請願第23号、第24号、第25号、第26号</b> 関係】     |

## 請願第22号 歩道における車両乗入部の平坦化を求める請願 ほか請願4件

### 3. 関係法令等

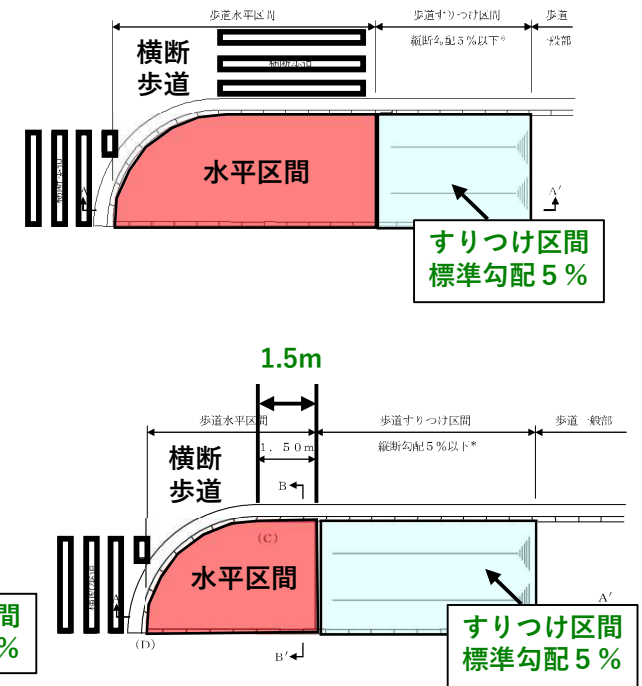
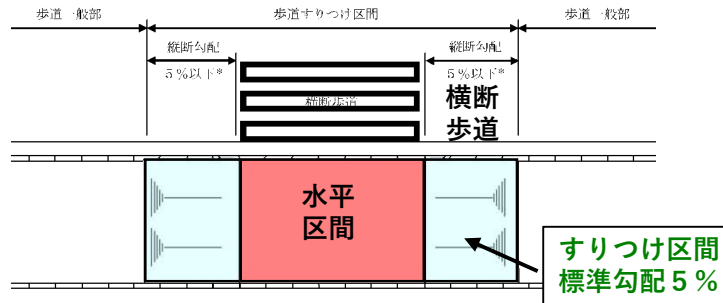
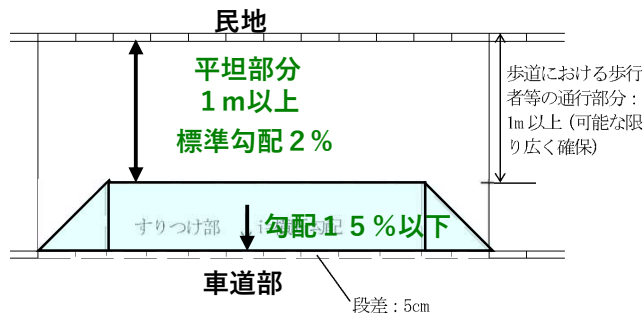
#### 歩道の一般的構造に関する基準

##### 【車両乗入れ部の構造】請願第22号関係

- 歩道面には、車いす使用者等の安全な通行を考慮して、原則として1m以上の平坦部分（※横断勾配2%を標準）を連続して設けるものとする。
- すりつけ部の横断勾配を15%以下（ただし、特殊縁石を用いる場合は10%以下）として、すりつけを行う。
- 歩道の幅員が狭く歩道内ですりつけができない場合は、全面を切下げてすりつける。

##### 【歩道の構造の原則】請願第24号関係

- 歩道の縦断勾配は、5%以下とする。ただし、沿道の状況等やむを得ない場合には、8%以下とすることができる。



#### 車両乗入れ部切下げ工事承認基準

##### 【形状及び構造】請願第22号関係

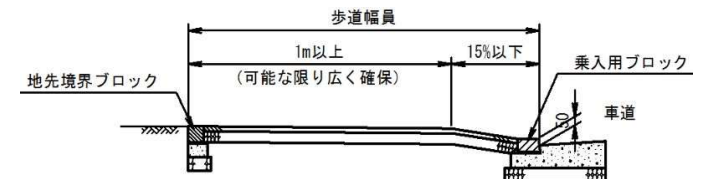
##### 第3条 乗入れ部の形状及び構造は、別表に定める。

2 区役所道路公園センター所長は、別表に定めるものを基本とし、次の事項を考慮して査定し、申請者に指示するものとする。

- |                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| (1) 乗入れする車両の種類及び台数 | (2) 申請者用地の土地利用            |
| (3) 申請者用地の広さ及び操車状況 | (4) 道路の交通及び道路附属物や占用物件等の状況 |
| (5) その他            |                           |

##### 承認基準別表抜粋

(歩道の段差が15cmを超える場合に歩道内においてすりつけを行う構造)



## 請願第22号 歩道における車両乗入部の平坦化を求める請願 ほか請願4件

### 4. 課題

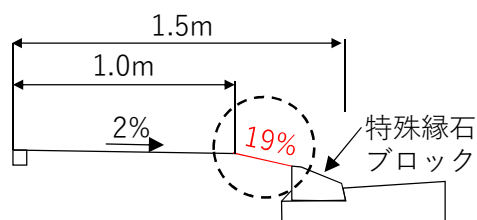
#### 【請願第22号 歩道における車両乗入部の平坦化を求める請願】

・既存道路内の改良では、沿道の土地利用形態等から、すべての基準値を満たせないことが多い。  
 (例) ①平坦部分を1m確保すると、横断勾配が基準値を超える(19%)。

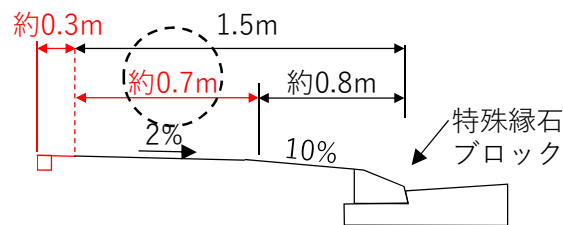
②特殊縁石を用いて横断勾配10%とすると、平坦部分が確保できない(約0.7m)。

⇒ 隣接地の用地が確保できれば、平坦部分の幅や横断勾配を基準値内とできるが、大規模な道路改良工事となる。

横断勾配が19%となり  
車両が接触する恐れあり



平坦部分の幅が0.7mとなり、基準値を満たすには0.3mの用地が必要となる

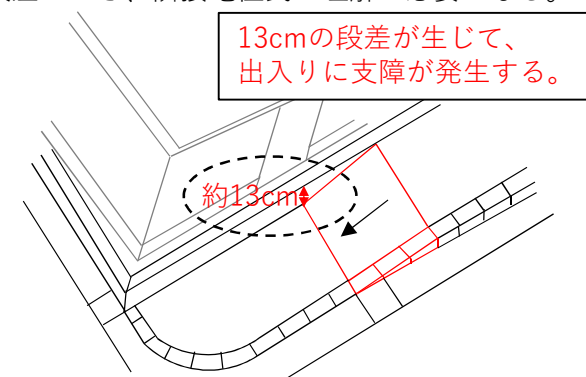


#### 【請願第24号

#### 歩道における縦断勾配の緩和を求める請願】

・既存道路内の改良では、縦断勾配を緩和した場合、民地との境に段差が生じるため隣接地住民の理解が必要

(例) 縦断勾配5%を確保すると、隣接地との間に13cmの段差ができ、隣接地住民の理解が必要になる。



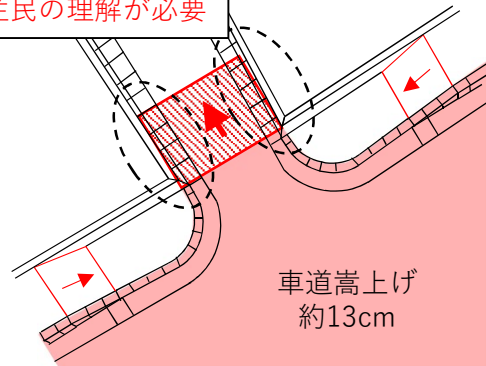
#### 【請願第25号 横断歩道滞留部分(歩道だまり)等の平坦化を求める請願】

・既存道路内の改良では、横断歩道滞留部分の水平区間を確保した場合、基準値を満たせないことや隣接地住民の理解が必要となることがある。

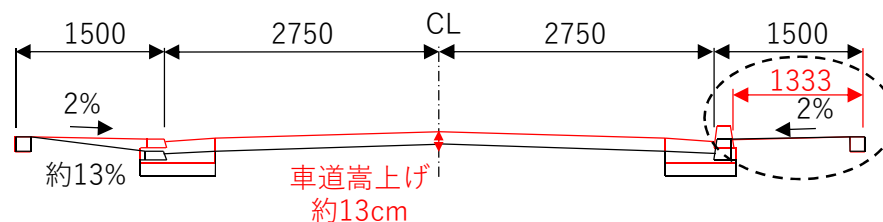
(例) ①車道を約13cm嵩上げした場合、歩道の横断勾配は基準値内にできるが、歩道の幅員が現況より狭くなる(約1.3m)。

②縦断勾配5%を確保すると、隣接地との間に13cmの段差ができ、隣接地住民の理解が必要になる。

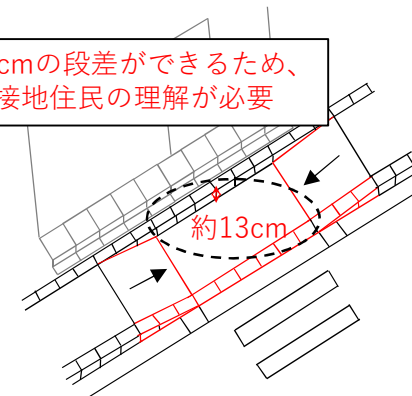
段差ができるため、  
隣接地住民の理解が必要



歩道の有効幅員が1.3mとなり、現況の1.5mより狭くなる。



13cmの段差ができるため、  
隣接地住民の理解が必要





## 請願第22号 歩道における車両乗入部の平坦化を求める請願 ほか請願4件

### 5. 本市の見解

#### 【請願第22号 歩道における車両乗入部の平坦化を求める請願】

| No. | 請願の内容                                                                                                                                         | 本市の見解                                                                                                     |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①   | 平坦部分の確保が1メートルに満たない、しかも横断勾配が5%を超える車両乗り入れ部が521か所あることが確認されています。これらは法令等の許容範囲を逸脱し、通行に支障や危険が及んでいますので、誰もが安全に通行できる平坦な歩道に改修してください。                     | ・現行法令等に適合していない車両乗入部は、不要な車両乗入部の改修を行うとともに、現場状況や歩行者の通行状況等を踏まえて適切な処置を講じる。                                     |
| ②   | 「車両乗入れ部切下げ工事承認基準」において、①歩道には1メートル以上の平坦部分（横断勾配2%以下とする部分）を設けること、②歩道幅員が狭い場合には車両乗り入れ部を全面切下げによるすり付けとすることを早急に明記して、通行に支障や危険が及ぶ歩道が新たににつくられないようにしてください。 | ・平坦部分の更なる確保等に向けて、承認工事の申請者の車両乗入部のバリアフリーに対する理解を促すため、承認基準の記載について、平坦部分の確保等に努めるべきことを明記する。                      |
| ③   | 職員ひとりひとりに法令等の遵守を徹底させるために組織運営管理の体制を強化してください。                                                                                                   | ・既存の道路の車両乗入部について、バリアフリー法に基づき2m以上の平坦部分の確保に努める義務があるところ、本市は、申請の審査に当たって、可能な限り平坦部分の確保等に努めており、法令に則り適切に業務を行っている。 |

#### 【請願第23号 排水口（溝）の蓋の取替えを求める請願】

| No. | 請願の内容                                                                                                                                                                           | 本市の見解                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①   | 歩道上又は歩道上以外にある排水口若しくは排水溝の上に設置された蓋の穴によって通行の支障となっている場所が152か所あることが確認されています。これらは、蓋の穴につえの先が落ち込んだり、小さな子の足が挟まったり、グレーチング蓋を始め金属製の蓋により滑って転倒したりするなど危険であるため、通行に支障や危険が及ばないように、具体的な対策を施してください。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道のグレーチング蓋については、原則、新設および改築にあたっては、本市条例で定められた基準に基づき、「つえ、車椅子のキャスター等が落ち込まない構造の溝蓋」として溝幅10mmの細目タイプを使用する。</li> <li>・既設のグレーチング蓋などの改善の必要がある場合は、現場状況や歩行者の通行状況等を踏まえ、適切な処置を講じる。</li> <li>・車道のグレーチング蓋については、路面排水機能の確保を重視し、原則普通目タイプ（溝幅30mm）を使用する。</li> <li>・現行法令等に適合していない排水溝や蓋については、必要に応じて溝穴をカバーで塞ぐなどの応急対策を行いながら改善していく。</li> </ul> |



## 請願第22号 歩道における車両乗入部の平坦化を求める請願 ほか請願4件

### 5. 本市の見解

#### 【請願第24号 歩道における縦断勾配の緩和を求める請願】

| No. | 請願の内容                                                                                                                          | 本市の見解                                               |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| ①   | 勾配が8%を超える縦断勾配（道路の進行方向に対する上り又は下りの勾配）が少なくとも55か所あることが確認されています。これらは法令等の許容範囲を逸脱し、通行に支障や危険が及んでいますので、誰もが安全に通行できるように、歩道の縦断勾配を緩和してください。 | ・現行法令等に適合していない箇所については、現場状況や歩行者の通行状況等を踏まえて適切な処置を講じる。 |

#### 【請願第25号 横断歩道滞留部分（歩道だまり）等の平坦化を求める請願】

| No. | 請願の内容                                                                                                                                                                          | 本市の見解                                                    |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| ①   | 平坦部分が少なく車道と接する勾配が急な横断歩道滞留部分（歩道だまり）や、車道との境界部分の段差が大きい場所が少なくとも67か所あることが確認されています。これらは川崎市福祉のまちづくり条例を始めとする法令等の許容範囲を逸脱し、通行に支障や危険が及んでいますので、誰もが安全に通行できるように横断歩道滞留部分を広く、平坦になるように改修してください。 | ・現行法令等に適合していない横断歩道接続部については、現場状況や歩行者の通行状況等を踏まえて適切な処置を講じる。 |

#### 【請願第26号 視覚障害者誘導用ブロックの適切な設置と維持管理を求める請願】

| No. | 請願の内容                                                                                                                                                   | 本市の見解                                                                                                         |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①   | もともとの設置が適切でなかった点字ブロックや、経年劣化等により輝度比が減少して弱視者等にとって識別するのが困難な点字ブロックが34か所あることが確認されています。これらは視覚障害者等が歩道等を安全に通行する上で支障が及んでいることから、速やかに改善してください。また、維持管理を適切に実施してください。 | ・道路パトロールや陳情等により点字ブロックの状態を把握し、必要に応じて川崎市視覚障害者情報文化センターと協議調整したうえで、色彩の改善も含めて点字ブロックの機能に支障がないように改善するとともに、適切に維持管理を行う。 |

#### 【請願第22号～26号 共通】

| No. | 請願の内容                                                  | 本市の見解                                                        |
|-----|--------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| ①   | 改善を必要とするこうした状況は市内全域に共通するものと推察されますので、市全体の問題として検討してください。 | ・今回の事案について、各区役所道路公園センターと情報を共有し、現場状況や歩行者の通行状況等を踏まえて適切な処置を講じる。 |